

きたきゅー

通巻第62号

北QみらいNO.20



[発行]

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

[連絡先]

TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
kitakyu-video@wel-tobata.jp

新年度のあいさつ

センター長 安藤 薫

毎年、師走より忙しい年度末。日々の業務に加え、事業報告や決算等に追われるのはどこの施設も同じだと思います。昨年度の事業を振り返ってみますと、初の試みの「コミュニケーションワークショップ」では開催まで不安はありましたが、大勢の参加者の中、自分の経験を語ってくださる方が多く、次年度も「ワークショップ」は開催してほしいとの声をいただき、安堵しました。

また、9回目を迎えた「聴覚障害者支援セミナー」も100名を超える参加者で、継続していくことの大切さを感じました。

今年度も、DVD制作・貸出はもとより、手話通訳者や盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣、交流事業としての「つどい」や「ふれあいの会」、「盲ろう者交流会」等滞りなく事業を行いながら、支援セミナーやワークショップも継続していけるよう、中身の濃い事業を行っていきたく考えています。

今年度も引き続き、ご協力の程よろしくお願いたします。



紹介1：新年度の職員体制について

平成30年4月からの職員の配置を紹介します。お近くへいらっしゃる時は、ぜひ、お立ち寄りください。

(印は、通訳派遣コーディネーターです)

市立聴覚障害者情報センター(コムシティ5階)

- 【センター長】 安藤 薫(あんど う かおる)
- 【センター主任】 峯浦 記久子(みねうら きくこ)
- 【ライブラリー】 市吉 哲夫(いちよし てつお)
- 【盲ろう者関係】 辻 晴美(つじ はるみ)
- 【専任手話通訳】 門田 和美(かどた かずみ)
川宿田 清子(かわしゆくだ せいこ)
奥森 由美(おくもり ゆみ)
亀崎 美奈子(かめざき みなこ)



峯浦 記久子 主任

(みねうら きくこ)

この度、市吉の後任として主任に就くことになりました。9年間、他の部署にありましたが、その前の約7年は旧ビデオライブラリーで市吉と共に業務しておりましたので、大変懐かしく思います。利用者の皆様にとってより良い情報提供施設になるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願申し上げます。



視聴覚障害者情報センター(ウェルとばた6階)

- 【センター長】 森 聖子(もり きよこ)
- 【要約筆記関係】 井本 さおり(いもと さおり)
- 【センター庶務】 市吉 利夫(いちよし としお)

お疲れ様です

西 えりな さん

(にし えりな)



この度、15年間の職務をまっとうし退職することとなりました。息子の片耳が聞こえないことをきっかけに平成元年に手話の世界に足を踏み入れ、平成15年に専任手話通訳者として身障協会に入職しました。当初は、慣れない手話通訳の仕事に悪戦苦闘でしたが、たくさんの聞こえない方のアメと鞭に心と腕は鍛えられ、糖と泡で体も肥えていきました(笑)これまでの仕事や活動の中でいつも心に刻んでいるのは、大先輩に言われた「聞こえない人は、西さんと同じ土俵に立っているのか?」です。つつい自分の経験や価値観で判断し押し付けることをしてしまいます。そんな時に、いつも浮かんでくるのが上記の言葉で「いかん、いかん!」と気持ちを新たにしています。

第二の人生の旅立ち。やっぱり、聞こえない方と一緒に歩みたいなあ~!!

情報1：アイドラゴン4（聴覚障害者向けテレビ）設置のご案内

新しい「アイドラゴン」を、聴覚障害者情報センターの閲覧コーナーに設置しました。今までのCS回線とアンテナ設置の必要がない「アイドラゴン4」が登場し、光回線（インターネット）に変更することで、24時間いつでも手話・字幕付き番組を見ることができるようになりました。ただし、インターネット契約が必要です。



「アイドラゴン4」の表示画面

- 利 点： 自分の好きな時間に見ることができます。
- 見逃すことなく、見ることができます。
- 番組の多くがアーカイブされ、1000本以上の聴覚障害者向けの番組から選択して見ることができます。

「アイドラゴン3」配信は、2018年3月31日で終了になっています。
「アイドラゴン4」は、日常生活用具として申請することができます。
詳しくは各区の高齢者・障害者相談コーナーにお尋ねください。

接続例



報告1：専任手話通訳者研修「国語」

平成30年2月24日(土)

テーマ：手話通訳者のための国語
講 師：藤本 玖美子（ふじもと くみこ）氏



情報センターで手話通訳の業務に携わる職員の研修会を行いました。
手話通訳の仕事は人から人へ言葉や思い、考えを伝えること。「基本となる明瞭な声、明瞭な言葉を誠意を持って相手に届ける、話し手の思いを伝え、聞き手が理解しているか常に確認することが大切」ということを学び、50音の声の出し方や、挨拶の言葉の意味なども知ったうえで声に出すことを学習しました。また、「カタルタカード」という接続詞のカードを使って、自分が話したい内容を組み立てながら好感をもたれる話し方で相手に伝えることも学びました。

藤本先生の指導はとてわかりやすく的確な指摘を受け、有意義な研修会ができました。

紹介2：手話通訳士試験 合格 おめでとうございます!!!

平成29年度の手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）北九州市の合格者は1名です。



川宿田 清子 専任手話通訳者

（かわしゅくだせいこ）



何度挑戦したことか！「合格」は程遠いものと思っていた。
研修会に参加して講師からこっぴどく言われても、心の中で「できないものはできない、仕方ない！」と反発。放り出したくなる気持ちを奮い立たせて、自宅で学習をする日々。研修会で撮られた自分のDVDを見ながら「そこ、違うやろ～！」と一人、突っ込みながらただひたすら練習の日々。問題に出てきた「終活」「姫路城」がすんなり頭に入ってきて私を応援してくれたが、それでも自信がなく、控え室に戻って撃沈。発表までドキドキでした。が、結果は「合格」。嬉しさよりも何か肩にずっしりと重いものがのしかかってきたような気がした。今からが大変と改めて禪（ふんどし）のひもを締め直す気構えです。今後ともよろしくお願ひします。

報告2：盲ろう者社会参加講座「料理」「FAX119」

平成30年2月～3月

<いつもの惣菜が変身！～おいしく、健康に食べるための工夫～>

2月10日(土)に西部障害者福祉会館にて開催。参加者は2名。手話の会会員で栄養士の資格をお持ちの江田美智子(こうだ みちこ)さんから、惣菜を使った簡単レシピを教えていただきました。

鶏の唐揚げ 南蛮漬け、ひじきの煮つけ がんもどき風、野菜と肉の煮物 すいとん汁、おひたし のり巻きの全4品を、それぞれ自分が食べる分を盲ろう者に作ってもらいます。参加したお二人は、普段から自宅でも料理をされているようで、慣れた手つきで料理を進めていきました。ほとんどの食材が切ったり煮たりしてあるため、料理が苦手な方にも向いているようでした。少しのアレンジで栄養補強できる調理方法を教わることで、盲ろう者自身の体力の強化や維持につながっていただけたら良いと思います。



小麦粉を練って、すいとん作り

<FAX119とメール119～病気や火事など緊急時の連絡方法～>



FAX119(救急・火事)用紙

3月5日(月)に東部障害者福祉会館にて開催。参加者は6名。北九州市消防局 消防司令長の秀島智三(ひでしま ともみつ)さんを講師に迎えて、緊急時の連絡方法についてお話しいただきました。

市内で盲ろう者が利用可能な「FAX119」と「メール119」について説明を聞いた後、通訳者による代筆でFAX119の専用用紙を記入しました。用紙は各自で持ち帰り、実際の緊急連絡時にFAXで送信することができます。自宅にFAXがない盲ろう者は、メール登録用紙を記入し、後日、登録のため市消防局へ行くこととなりました。緊急時に盲ろう者が自分から行動できる選択肢を増やし、少しでも安心して暮らせるようになってほしいと思います。

紹介3：平成30年度 要約筆記者養成講座

平成30年5月～平成31年2月

**平成30年度 要約筆記者養成講座
～ 受講生募集のお知らせ ～**

日 程：平成30年5月11日～平成31年2月中旬
会 場：北九州市立東部障害者福祉会館
定 員：手書きコース10名、パソコンコース10名
申込期限：平成30年4月25日(水)まで

詳細は「北九州市身体障害者福祉協会ホームページ」に掲載していますので、ご覧ください。



「パソコンコース」講座の様子

情報2：日本語字幕付き上映日の映画案内(5月)

『映画クレヨンしんちゃん 1日1回以上上映
爆盛!カンフーボーイズ～拉麺大乱～』
字幕上映日 5月1日(火)～5月3日(木・祝)

『名探偵コナン ゼロの執行人』 1日1回以上上映
字幕上映日 5月6日(日)～5月9日(水)

『となりの怪物くん』 1日1回以上上映
字幕上映日 5月13日(日)～5月16日(水)

『いぬやしき』 1日1回以上上映
字幕上映日 5月20日(日)～5月23日(水)

お問い合わせ

T・ジョイリバーウォーク北九州
〒803-0812
北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州デコシティ4F

連絡先


TEL:093-573-1569
FAX:093-573-1653

MAIL

kitakyushu@t-joy.net

報告3：派遣事業の件数 出-タ (専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者)

専任手話通訳者

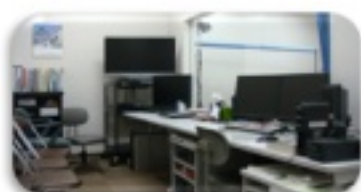
	個人	団体	計
1月	241	14	255
2月	233	11	244
3月	256	12	268
総計	730	37	767

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
1月	18	0	18
2月	18	0	18
3月	13	0	13
総計	49	0	49

要約筆記者

	個人	団体	計
1月	4	7	11
2月	6	5	11
3月	11	7	18
総計	21	19	40



ビデオ制作のコーナー



紹介4：DVD新入荷 なつかしい邦画を見ませんか？

「宇宙からのメッセージ」(105分 東映) 昭和53年製作

惑星ジルーシアは、ガバナス帝国の侵略により荒れ果てていた。ジルーシアの大酋長キドは、救い手の勇者を求めて、ジルーシアの守り神であるリアベの実8個を宇宙に放つ。キドの孫娘・エメラリーダは、勇者を探すためリアベの実を追い宇宙へと旅立つ。深作欣二(ふかさく きんじ) 監督作品。

「おもひでぽろぽろ」(119分 スタジオジブリ) 平成3年製作

時代は1982年の夏。27歳の岡島タエ子(おかじま たえこ)は休暇を取って、山形の親戚の家に滞在させてもらうことになった。子どもころから田舎に憧れていたタエ子。山形に向かう寝台特急の中で、突然小学5年生の自分が蘇ってきた。山形での滞在中も時々顔を出す5年生の自分。そんな思い出とともに過ごしていくタエ子は、しだいに親戚のトシオの影響で農家の暮らしに魅力を感じるようになっていく。高畑勲(たかはた いさお) 監督作品。


編集後記：手話通訳士試験 合格への道(番外編)

2ページ目に掲載「手話通訳士試験合格者」による試験前日のお話です。

試験前日の予定でホテルへ到着。名前を告げると、ホテルマンの慌てる様子。「宿泊名簿にお客様のお名前がございません」と言われた時、この人は何語を話しているのか?とっていると「予約内容を何かに残していませんか」と言われ携帯電話を差し出す。「お客様、ご予約は当ホテルではないようです。県庁前です」...何ですと! 県庁前がどこやら分からず、教えていただいたとおりにバスセンターへ行き、バスに乗り込む。しかし、いつまでたってもバスは「県庁前」に着かない。思い切って運転士に尋ねると「ここで降りた方がいい」と一言。夜の道をとぼとぼ歩きながら、県庁前ホテルへ電話を入れる。そのまま電話を切らずに道案内を30分間も続けていただいたおかげで、やっと自分の寝る場所を確保。こんなすったもんだがありつつも、無事に試験当日を迎えることとなった。



貸出状況の出-タ

	貸出人数	貸出本数
1月	13	34
2月	11	27
3月	8	20
総計	32	81